

表 3.8 CMMマップ (OPD : 組織プロセス定義)

目 標	キープラクティス	ISO9001	対応度	コメント
ゴール 1	活動 1	4.1		・ 組織の標準ソフトウェアプロセスが 文書化された手順に従って策定されて いること。
	活動2	4.1 4.2.1 4.2.2		-
	活動3	7.1		-
	活動4	-	X	・ テーラリングするためのガイドライ ンが策定されていること。
	測定 1	-	X	・ 組織のプロセス定義の活動状況を判 断すること。(内部改善を実施してい れば、活動状況を判断する約束事がで きているとも考えられる。)
	検証 1	4.1 7.1 8.2.2 8.2.3		・ SQAグループがレビューかつ/ま たは監査し、報告すること。
ゴール 2	活動 5	-	X	・ 組織のソフトウェアプロセスのデー タベース化が必要である。 (「8.4 データの分析」に含まれる ことが考えられるが、直接的なプロセ スデータベースはない。)
	活動 6	-	X	・ 再利用できるライブラリを確立する こと。
	測定 1	-	X	(ゴール 1 の測定 1 と同じ)
	検証 1	-	X	(ゴール 1 の検証 1 と同じ)